普及活動の実績記録（１人１課題）

花き収益性向上に向けた支援

～　電照にによるシネンシス系スターチスの採花本数の増加～

対象：秩父別町シネンシス系スターチス栽培農家５戸

１　活動の背景

高温期の２番花における草丈・茎数確保と採花揃いの改善が課題

R5～6年の電照試験結果、茎数増加と採花時期が揃う傾向を確認

生産部会と連携した電照技術の波及と実証ほの設置

２　活動の経過

①秩父別町シネンシス系スターチス栽培農家に電照技術を波及

②電照試験ほの設置

作型	品種	定植日	１番花採花	LED点灯日	２番花調査日	採花終わり
無加温	ﾌﾞﾘｽﾎﾜｲﾄ(中早生)	５/３０		８/１４		10/17
６月上旬	ｷﾉﾗﾌﾞﾘｰ（中生）	６／６	７/下	８/１２	９/２４	10/14
定植	ｷﾉﾌﾞﾙｰﾑ（中生）	６／６		８/１４		10/18

※光源は１番花採花後から２番花採花終わりまで終夜（18:00～4:00）点灯

３　活動実績の具体的内容

①秩父別町シネンシス系スターチス栽培農家に電照技術を推進

電照技術の導入農家数（現状０戸→目標２戸→実績１戸→到達度：50%）

年度当初３戸で、電照技術を導入予定であったが、１戸は効果が期待できない品種(中生)の作付で断念、もう１戸は電照設備の発注ミスで電照に至らなかったので、１戸のみの電照技術導入に止まった。

②電照試験ほの設置

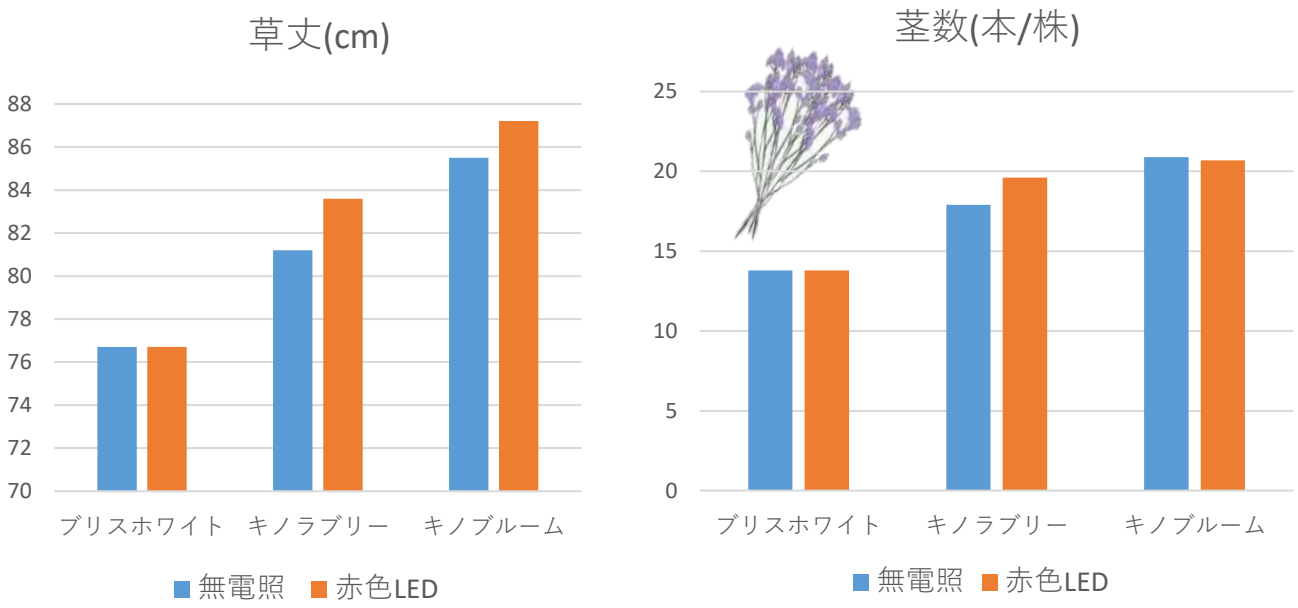

図１　電照効果

◆ブリスホワイトは草丈・茎長ともに早生品種(R6同様)のためか電照の効果は認められ無かった。
◆中早生品種であるキノラブリーは草丈・茎数ともに電照効果がみられた。もう一つの中早生品種キノブルームは草丈で効果はみられ開花揃いも良かったが、茎数では判然としない結果となった。

表１　Ｒ５～７年度までの電照試験結果の概要

	品種名	早晩生	電照効果		
			草丈	茎数	備考
Ｒ５	キノラパン	中生	→	↑	－
Ｒ６	ベイビーテイル	早生	→	→	開花揃いの向上
	マシュマロ	中早生	→	→	開花揃いの向上
Ｒ７	ブリスホワイト	早生	→	→	－
	キノラブリー	中早生	↑	↑	－
	キノブルーム	中早生	↑	→	開花揃いの向上

※無電照と比較して　同等：→　増：↑　減：↓

４　今後の課題と対応

◆電照技術導入による経済性の検討と電照効果が早晩生による品種間差があるので、技術導入する場合は品種選定に留意が必要と思われる。
◆スターチスにおける電照技術の導入は他産地でも取組事例が無いので、「空知地域農業技術支援会議」に「北育ち元気村花き生産組合」が依頼し効果の検証をする計画となっている。

【作成者　空知農業改良普及センター北空知支所　　主査（地域支援）北山　政幸.
専門普及指導員　河野　祐汰】